

「介護ロボットの普及と福祉用具専門相談員の役割に関する調査研究事業」

福祉用具専門相談員調査票

■ 記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は「**管理者**」1名および「**貴事業所内で3年以上の経験を有する福祉用具専門相談員（現任でサービスを提供している方）**」1名がそれぞれご記入下さい。
- ・ 「**可搬型階段昇降機**」「**自動排泄処理装置**」は、介護保険制度の施行以降に、新たに介護保険制度対象の福祉用具貸与品目に追加された福祉用具であり、比較的大型で高度な機能を有するという特徴を持っています。この調査では、これらの機器に着目して、これまでの取り扱いのご経験についてお聞きします。
- ・ 特に指定の無い限り、**2014年11月1日時点**の状況についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合は「0」とご記入下さい。
- ・ ご記入いただいた調査票2部は、同封の返信用封筒で、**2014年11月14日（金）**までに
ご投函下さい。

■ 調査に関するお問い合わせ先・返送先

■ 調査全体の趣旨、ねらいなどについてのお問い合わせ

調査実施主体（調査票返送先）

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 事務局

〒108-0073東京都港区三田2-14-7口ーレル三田404

TEL：03-5418-7700（平日 10:00～17:00）

FAX：03-5418-2111

メール：info@zfssk.com

■ 設問の趣旨、回答方法などについてのお問い合わせ

調査委託先

（株）三菱総合研究所 人間・生活研究本部 担当：中澤・江崎・橋本

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL：03-6705-6024（平日 10:00～17:00）

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

事業所の基本情報について

事業所の所在地	()都・道・府・県	事業所の開設年	西暦()年		
事業所の福祉用具レンタルの利用者数(実人数)		人			
事業所の形態	1. 単独事業所 2. 多店舗型企業の1事業所 3. その他()				
事業所に併設しているサービス(○はいくつでも)	1. リハビリテーション病棟を有する病院・診療所 2. 療養病床を有する病院・診療所 3. 病院・診療所・歯科診療所(上記以外) 4. 訪問看護事業所 5. 訪問介護事業所 6. 訪問リハビリテーション事業所	7. 通所リハビリテーション事業所 8. 訪問入浴介護事業所 9. 通所介護事業所 10. 介護老人保健施設 11. 居宅介護支援事業所 12. その他()			
事業所における福祉用具の調達方法	1. 主に自社で調達・保有している 2. 主にレンタル卸を利用している 3. 「1」と「2」を併用している				
事業所の職員体制		常勤 実人数	非常勤 実人数	うち福祉用具 専門相談員資 格保有者数	うちリハ専門職 資格者数
	現場担当職(営業職)	人	人	人	人
	事務専業職	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人

1. ご回答者の基本情報について

(1)あなたは事業所管理者ですか	1. はい 2. いいえ	(2)福祉用具専門 相談員としての 業務経験年数	年	(3)現在の担当 利用者数	人
(4)「福祉用具専門相談員」以外に保有している資格(○はいくつでも)	1. 社会福祉士 4. 作業療法士 7. その他()	2. 介護福祉士 5. 理学療法士	3. 義肢装具士 6. 訪問介護員2級以上		
(5)現在履修済みの研修や取得している民間資格(○はいくつでも)	1. 福祉用具プランナー 3. 福祉住環境コーディネータ 5. その他()	2. 福祉用具選定士 4. 福祉用具供給事業者現任研修会			

2. 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の取り扱いの経験について

(6)可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の導入についてケアマネジャーに提案したことはありますか。	可搬型階段昇降機	1. 提案したことがある 2. 提案したことはない	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いずれも2の場合はP4の「3(15)」の設問へお進みください </div>
	自動排泄処理装置	1. 提案したことがある 2. 提案したことはない	
(7)提案した可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置が実際に利用されたことがありますか。	可搬型階段昇降機	1. 利用されたことがある 2. 利用されたことは一度もない	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いずれも2の場合は次ページの(9)の設問へお進みください </div>
	自動排泄処理装置	1. 利用されたことがある 2. 利用されたことは一度もない	

(8) 提案した用具が、利用されることになった要因として考えられる理由は何ですか。(〇はいくつでも)	性能	1. 必要な機能・性能を備えていたため
		2. 操作やメンテナンスが容易であったため
	情報	3. テレビ、雑誌などで高く評価された情報を提供できたため
		4. 具体的な利用場面や効果的な使い方が示されたため
		5. 利用することの効果を示すことができたため
		6. 費用対効果が高いことを示すことができたため
		7. 機器の安全性を示すことができたため
	関係者	8. 利用者からの要望があったため
		9. 必要性や効果が利用者に理解されたため
		10. 必要性や効果が家族に理解されたため
		11. 必要性や効果が介護支援専門員に理解されたため
		12. 他の職種から利用を勧められたため
		13. 必要性や効果が他の職種に理解されたため
	心理的要因	14. 新しいものへの関心があったため
	制度	15. 費用が給付費内で賄える範囲内だったため
		16. 導入・利用のための費用が負担できたため
その他	17. その他()	
(9) 提案した用具が受け入れられなかった要因として考えられる理由は何ですか。(〇はいくつでも)	性能	1. 必要な機能・性能を備えていなかったため
		2. 操作やメンテナンスが難しかったため
	情報	3. テレビ、雑誌などでよい評価を得た情報を提供できなかったため
		4. 具体的な利用場面や効果的な使い方を示せなかったため
		5. 利用することの効果が示せなかったため
		6. 費用対効果が高いことが示せなかったため
		7. 機器の安全性を示すことができなかったため
	関係者	8. 利用者が使いたくないという意向が強かったため
		9. 必要性や効果が利用者に理解されなかった
		10. 必要性や効果が家族に理解されなかった
		11. 必要性や効果が介護支援専門員に理解されなかった
		12. 必要性や効果が他の職種に理解されなかった
	心理的要因	13. 人的サービスのほうが望ましいと考えられているため(人的サービスよりも良いとの評価が得られなかったため)
		14. 機械の扱いは苦手という意識があったため
		15. 現在のサービスの内容、構成を変更したくない意識が強かったため
	制度	16. 給付限度額の制約のため(予算オーバー)
		17. 保険者が介護保険の給付対象外と判断したため
		18. 利用者にとって導入・利用のための費用負担が大きかったため
	その他	19. その他()
可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置を導入したご経験に基づいてお答えください。		
(10) アセスメントや機器の必要性の判断においてどのような課題がありましたか		
(11) 搬入出・取付け／取外し・調整においてどのような課題がありましたか		
(12) 使い方の指導においてどのような課題がありましたか		
(13) 利用期間中に機器をメンテナンスする上で、どのような課題がありましたか		
(14) 機器の保守・保管・消毒において、どのような課題がありましたか		

⇒P5の「4」の設問にお進み下さい。

3. 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置を提案したことがない方にお聞きします。

<p>(15) 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の利用を阻害している要因は何だと思えますか。 (○はいくつでも)</p>	性能	1. 機器が必要な機能・性能を備えていないため
		2. 機能・性能はあるが操作やメンテナンスが難しいため
	情報	3. テレビ、雑誌などで客観的な評価情報が不足しているため
		4. 具体的な利用対象、利用場面や効果的な使い方に関する情報が不足しているため
		5. 利用することの効果に関する情報が不足しているため
		6. 費用対効果に関する情報が不足しているため
		7. 機器の安全性に関する情報が不足しているため
	関係者	8. 利用者が新しい機器を使いたくないという意向が強いため
		9. 必要性や効果が利用者に理解されないため
		10. 必要性や効果が家族に理解されないため
		11. 必要性や効果が介護支援専門員に理解されないため
		12. 必要性や効果が他の職種に理解されないため
	心理的要因	13. 人的サービスのほうが望ましいと考えられているため(人的サービスよりも良いとの評価が得られなかったため)
		14. 機械の扱いは苦手という意識があったため
		15. 現在のサービスの内容、構成を変更したくない意識が強いため
	制度	16. 給付限度額の制約のため(予算オーバー)
		17. 介護保険の給付対象外と判断されることがあるため
		18. 導入や利用のための負担が大きいため
その他	19. その他()	
<p>(16) 今後、可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置が受け入れられるためには何が必要だと思えますか。 (○はいくつでも)</p>	性能	1. 必要な機能・性能を備えた機器が開発されること
		2. 操作やメンテナンスが容易になること
	情報	3. テレビ、雑誌などで高く評価された情報を提供すること
		4. 具体的な利用場面や効果的な使い方を示すこと
		5-1. 利用することの効果(自立支援に役立つ)を示すこと
		5-2. 利用することの効果(介護負担軽減)を示すこと
		6. 費用対効果が高いことを示すこと
	関係者	7. 機器の安全性を示すこと
		8. 利用者が積極的に使いたいという意向を示すこと
		9. 必要性や効果が利用者に理解されること
		10. 必要性や効果が家族に理解されること
		11. 必要性や効果が介護支援専門員に理解されること
		12. 他の職種が積極的に利用を薦めること
		13. 必要性や効果が他の職種にも理解されること
	14. 福祉用具専門相談員が機器について理解し、十分に情報提供すること	
	心理的要因	15. 福祉用具の活用に対する意識を高めること
	制度	16. 費用が給付費内で賄える範囲内となること
		17. 導入・利用のための費用が大きくないこと
その他	18. その他()	

4.介護ロボットへの関心について

※以下の設問は、添付の「(参考資料)介護ロボットについて」に目を通してからご回答ください。

(17)介護ロボットに関心がありますか	1. ある 2. ない
(18)介護ロボットに関する情報収集を行っていますか。	1. いつも情報収集を行っている 2. 気になる介護ロボットを見つけたら情報収集をする 3. 行っていない ⇒問(21)へ
(19)介護ロボットに関する情報はどこから収集していますか。(〇はいくつでも)	1. 一般の新聞・雑誌 2. 業界紙、業界団体広報誌 3. 行政の資料 4. テレビ 5. Web サイト 6. その他()
(20)ケアマネジャーや利用者に対して介護ロボットに関する情報提供を行っていますか。	1. いつも自主的に新しい情報の提供を心掛けている 2. 指示、要望があった時に 新しい情報を提供している 3. 行っていない
(21)体験できる場所があったら行ってみたいですか	1. そう思う 2. そう思わない
(22)試用できる制度があったら活用してみたいですか	1. そう思う 2. そう思わない
(23)参考資料に記載されている介護ロボットを知っていましたか。	1. すべて知っている 2. 半分以上知っている 3. 知っているものは半分以下 4. 知っているものはない
(24)参考資料に記載されている介護ロボットについて情報収集したことがあるものがありますか。(〇はいくつでも)	1. 移乗介助(装着型) 2. 移乗介助(非装着型) 3. 移動支援(屋外型) 4. 移動支援(屋内型) 5. 排泄支援 6. 見守り支援(在宅型) 7. 入浴支援 8. コミュニケーションロボット 9. ない
(25)以下の問いでは、参考資料に記載している分類ごとにお聞きします。 (イラストは「介護ロボットポータルサイト」 http://robotcare.jp より転載)	
 <p>移乗介助(装着型)</p>	<p>実用化・普及を期待しますか</p> <p>1. 大いに期待する 2. 期待する 3. あまり期待しない 4. 期待しない</p>
	<p>福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか</p> <p>1. 取り扱うことができる その理由(2と回答した場合のみ) 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない</p>
	<p>使ってみたいと思いますか</p> <p>1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない</p>
	<p>在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(〇はいくつでも)</p> <p>1. 性能 具体的に 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他</p>
 <p>移乗介助(非装着型)</p>	<p>実用化・普及を期待しますか</p> <p>1. 大いに期待する 2. 期待する 3. あまり期待しない 4. 期待しない</p>
	<p>福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか</p> <p>1. 取り扱うことができる その理由(2と回答した場合のみ) 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない</p>
	<p>使ってみたいと思いますか</p> <p>1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない</p>
	<p>在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(〇はいくつでも)</p> <p>1. 性能 具体的に 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他</p>

移動支援(屋外型) 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
移動支援(屋内型) 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
排泄支援 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
見守り支援(在宅介護型) 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
入浴支援 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に

コミュニケーションロボット	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない	
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)	
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい	2. 使いたくない	3. わからない
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に	

5. 福祉用具専門相談員の役割の将来像について

(26) 将来は介護ロボットの利用拡大に期待したいと思いますか。	1. 思う	2. 思わない
(27) 介護ロボットの利用普及に福祉用具専門相談員が貢献できると思いますか。	1. はい 2. いいえ ⇒問(29)へ	
(28) 利用を普及させるためにどのような活動が重要だと思いますか。(○はいくつでも)	1. 福祉用具専門相談員が十分な知識、技術を持つ 2. 利用者、家族向けの情報提供の機会を増やす 3. 介護支援専門員や他の職種向けの情報提供の機会を増やす 4. 新しい用具を体験してもらえる機会を増やす 5. 介護保険の補助対象となるようにアピールする 6. 介護保険対象外のものでも利用を促すようなPRをする 7. メーカーと要介護者の間に立ち、意見交換の機会を増やす 8. その他()	
(29) 在宅で介護ロボットを利用する上で、福祉用具専門相談員はどのような役割を担うことができると思いますか。	1. 介護ロボットの利用効果や適応について情報を蓄積すること 2. 利用者、介護者、関係者に情報発信、説明すること 3. 他職種と連携し、介護ロボットの利用環境を整備すること 4. 必要な設定や利用指導すること 5. 介護ロボットをメンテナンスすること 6. いずれも福祉用具専門相談員の役割とは考えられない⇒問(32)へ	
(30) 福祉用具専門相談員がこのような役割を担う場合、どのような技術、知識が新たに必要になると思いますか。(○はいくつでも)	1. 個々のロボットの特性・技術に関する知識 2. ロボットの初期設定がひとりでできること 3. ロボットの修理、トラブル対応がひとりでできること 4. ロボットを用いた介護サービスの方法、技術、ロボットを利用した事例の情報 5. その他() 6. 特になし	
(31) 知識、技術をどのように習得することがふさわしいと思いますか。(○はいくつでも)	1. 研修に参加する 2. テキスト等で自習する 3. 自分で使ってみて技術を身に付ける 4. 業務の中で経験を増やす 5. 改めて高等教育(専門学校、大学など)を受ける 6. その他()	
(32) 福祉用具専門相談員が役割を担うことができないと考える場合、その理由はなぜですか。(○はいくつでも)	1. 福祉用具専門相談員にかかる負担が大きいから 2. 介護ロボットの機能や取り扱いについて知識やスキルを習得することが困難だから 3. 福祉用具専門相談員の専門性とは異なるから 4. 福祉用具専門相談員がリスクを負うことになるから 5. その他()	
(33) 介護ロボットと福祉用具専門相談員の将来についてイメージすることがあれば自由にお書きください。		

以上で調査は終了です。お忙しいところご協力ありがとうございました。

2. 介護支援専門員調査票

「介護ロボットの普及と福祉用具専門相談員の役割に関する調査研究事業」

介護支援専門員調査票

■ 記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は「貴事業所内で3年以上の経験を有する介護支援専門員」を選定いただき、その方がご記入下さい。
- ・ 「可搬型階段昇降機」「自動排泄処理装置」は、介護保険制度の施行以降に、新たに介護保険制度対象の福祉用具貸与品目に追加された福祉用具であり、比較的大型で高度な機能を有するという特徴を持っています。この調査では、これらの機器に着目して、これまでの取り扱いのご経験についてお聞きします。
- ・ 特に指定の無い限り、**2014年11月1日時点**の状況についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合は「0」とご記入下さい。
- ・ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で、**2014年11月14日（金）まで**にご投函下さい。

■ 調査に関するお問い合わせ先・返送先

■ 調査全体の趣旨、ねらいなどについてのお問い合わせ

調査実施主体（調査票返送先）

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 事務局

〒108-0073東京都港区三田2-14-7口ーレル三田404

TEL：03-5418-7700（平日 10:00~17:00）

FAX：03-5418-2111

メール：info@zfssk.com

■ 設問の趣旨、回答方法などについてのお問い合わせ

調査委託先

（株）三菱総合研究所 人間・生活研究本部 担当：中澤・江崎・橋本

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL：03-6705-6024（平日 10:00~17:00）

FAX：03-5157-2143（24時間受付）

事業所の基本情報について

事業所の所在地	()都・道・府・県	事業所の開設年	西暦()年	
給付管理を行っている 実利用者数	居宅介護支援	人	介護予防支援	人
事業所の形態	1. 単独事業所 2. 多店舗型企業の1事業所 3. その他()			
事業所に併設している サービス(○はいくつでも)	1. 病院・診療所・歯科診療所 2. 訪問介護(介護予防含む) 3. 訪問看護(介護予防含む) 4. 訪問リハビリテーション(介護予防含む) 5. 通所介護(介護予防含む) 6. 通所リハビリテーション(介護予防含む) 7. 福祉用具貸与・販売(介護予防含む) 8. 認知症対応型通所介護(介護予防含む) 9. 地域包括支援センター 10. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) 11. 介護老人保健施設 12. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(介護予防含む) 13. その他()			
事業所の職員体制		常勤実人数	非常勤実人数	常勤換算数
	ケアマネジャー	人	人	人
	事務職員・その他	人	人	人

1. ご回答者の基本情報など

(1)介護支援専門員としての 業務経験年数	年	(2)現在の担当利用者数	人
(3)現在、「介護支援専門員」 のほかに保有している資格 (○はいくつでも)	1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 助産師 6. 看護師 7. 准看護師 8. 理学療法士 9. 作業療法士 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士 12. 視能訓練士 13. 義肢装具士 14. 歯科衛生士 15. 言語聴覚士 16. 栄養士 17. 精神保健福祉士 18. ホームヘルパ-1級 19. ホームヘルパ-2級 20. 福祉用具専門相談員 21. その他()		
(4)主任介護支援専門員資格 の有無	1. あり 2. なし		
(5)普段、通常業務では福祉 用具専門相談員とどの ような連携をしています か。(○はいくつでも)	1. 新製品等の情報提供を受けている 2. 福祉用具貸与事業所等が主催する勉強会に参加している 3. 福祉用具の導入の必要性について相談する 4. 福祉用具を導入したい利用者について、適切な用具について意見を求める 5. 導入したい福祉用具をあらかじめ選定した上で、調達を依頼する 6. 福祉用具の導入を検討する際、一緒に利用者宅を訪問する 7. その他()		
(6)ケアプラン作成に関して 右に示した考え方があり ます。あなたはこのよう な考え方に沿ったケアプ ランを作成しています か。	「福祉用具を利用することにより、要介護者の自立度をできるだけ高めることを検討した 上で、人的サービスを組み立てる」 1. このような考え方に沿って作成している 2. 概ねこのような考え方に沿って作成している 3. 場合によっては、このような考え方に沿って作成している。 4. このような考え方でケアプランを作成していない		

2. 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の導入の経験について

(7) 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の導入について福祉用具専門相談員から提案を受けたこと(導入を検討したこと)はありますか。	可搬型階段昇降機	1. 提案を受けた(導入を検討した)ことがある 2. 提案を受けた(導入を検討した)ことがない 3. 可搬型階段昇降機について知らない	いずれも2または3の場合はP4の「3(11)」の設問へお進みください
	自動排泄処理装置	1. 提案を受けた(導入を検討した)ことがある 2. 提案を受けた(導入を検討した)ことがない 3. 自動排泄処理装置について知らない	
(8) 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置を実際に導入したことがありますか。	可搬型階段昇降機	1. 導入したことがある 2. 導入したことは一度もない	いずれも2の場合は(10)の設問へお進みください
	自動排泄処理装置	1. 導入したことがある 2. 導入したことは一度もない	
(9) 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置を導入した理由はどのようなものでしたか。(〇はいくつでも)	性能	1. 必要な機能・性能を備えていたため	
		2. 操作やメンテナンスが容易であったため	
	情報	3. テレビ、雑誌などで高く評価された情報が提供されたため	
		4. 具体的な利用場面や効果的な使い方が示されたため	
		5. 利用することの効果を示されたため	
		6. 費用対効果が高いことが示されたため	
		7. 機器の安全性が示されたため	
	関係者	8. 利用者からの要望があったため	
9. 必要性や効果が利用者に理解されたため			
10. 必要性や効果が家族に理解されたため			
11. 他の職種から利用を勧められたため			
12. 必要性や効果が他の職種に理解されたため			
心理的要因	13. 新しいものへの関心があったため		
制度	14. 費用が給付費内で賄える範囲内だったため		
	15. 導入・利用のための費用が負担できたため		
その他	16. その他()		
(10) 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置を導入しなかった理由はどのようなものでしたか。(〇はいくつでも)	性能	1. 必要な機能・性能を備えていなかったため	
		2. 操作やメンテナンスが難しかったため	
	情報	3. テレビ、雑誌などでよい評価を得た情報が提供されなかったため	
		4. 具体的な利用場面や効果的な使い方が示されなかったため	
		5. 利用することの効果を示されなかったため	
		6. 費用対効果が高いことが示されなかったため	
		7. 機器の安全性が示されなかったため	
	関係者	8. 利用者が使いたくないという意向が強かったため	
		9. 必要性や効果が利用者に理解されなかった	
		10. 必要性や効果が家族に理解されなかった	
		11. 必要性や効果が他の職種に理解されなかった	
	心理的要因	12. 人的サービスのほうが望ましいと考えられているため(人的サービスよりも良いとの評価が得られなかったため)	
		13. 機械の扱いは苦手という意識があったため	
		14. 現在のサービスの内容、構成を変更したくない意識が強かったため	
	制度	15. 給付限度額の制約のため(予算オーバー)	
		16. 保険者が介護保険の給付対象外と判断したため	
		17. 利用者にとって導入・利用のための費用負担が大きかったため	
	その他	18. その他()	

⇒P5の「4」の設問にお進み下さい。

3. 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の導入を検討したことがない方にお聞きします。

<p>(11) 可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置の利用を阻害している要因は何だと思えますか。 (○はいくつでも)</p>	性能	1. 機器が必要な機能・性能を備えていないため
		2. 機能・性能はあるが操作やメンテナンスが難しいため
	情報	3. テレビ、雑誌などで客観的な評価情報が不足しているため
		4. 具体的な利用対象、利用場面や効果的な使い方に関する情報が不足しているため
		5. 利用することの効果に関する情報が不足しているため
		6. 費用対効果に関する情報が不足しているため
		7. 機器の安全性に関する情報が不足しているため
	関係者	8. 利用者が新しい機器を使いたくないという意向が強いため
		9. 必要性や効果が利用者に理解されないため
		10. 必要性や効果が家族に理解されないため
		11. 必要性や効果が他の職種に理解されないため
	心理的要因	12. 人的サービスのほうが望ましいと考えられているため(人的サービスよりも良いとの評価が得られなかったため)
		13. 機械の扱いは苦手という意識があったため
		14. 現在のサービスの内容、構成を変更したくない意識が強いため
	制度	15. 給付限度額の制約のため(予算オーバー)
		16. 介護保険の給付対象外と判断されることがあるため
		17. 導入や利用のための負担が大きいため
	その他	18. その他()
<p>(12) 今後、可搬型階段昇降機・自動排泄処理装置が受け入れられるためには何が必要だと思えますか。 (○はいくつでも)</p>	性能	1. 必要な機能・性能を備えた機器が開発されること
		2. 操作やメンテナンスが容易になること
	情報	3. テレビ、雑誌などで高く評価された情報が提供されること
		4. 具体的な利用場面や効果的な使い方が示されること
		5. 利用することの効果(自立支援に役立つ)が示されること
		6. 利用することの効果(介護負担軽減)が示されること
		7. 費用対効果が高いことが示されること
		8. 機器の安全性が示されること
	関係者	9. 利用者が積極的に使いたいという意向を示すこと
		10. 必要性や効果が利用者に理解されること
		11. 必要性や効果が家族に理解されること
		12. 他の職種が積極的に利用を薦めること
		13. 必要性や効果が他の職種にも理解されること
		14. 福祉用具専門相談員が機器について理解し、十分に情報提供すること
	心理的要因	15. 福祉用具の活用に対する意識を高めること
	制度	16. 費用が給付費内で賄える範囲内となること
		17. 導入・利用のための費用が大きくないこと
	その他	18. その他()

移動支援(屋外型) 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
移動支援(屋内型) 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
排泄支援 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
見守り支援(在宅介護型) 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に
入浴支援 	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい 2. 使いたくない 3. わからない	
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に

コミュニケーションロボット	実用化・普及を期待しますか	1. 大いに期待する 3. あまり期待しない	2. 期待する 4. 期待しない	
	福祉用具の一種として取り扱うことが出来ると思いますか	1. 取り扱うことができる 2. 取り扱うことができない⇒ 3. わからない	その理由(2と回答した場合のみ)	
	使ってみたいと思いますか	1. 使ってみたい	2. 使いたくない	3. わからない
	在宅で利用する上で、どのようなことが課題になると思いますか(○はいくつでも)	1. 性能 2. 耐久性・メンテナンス性など 3. 操作性 4. 安全性 5. その他	具体的に	

6. 介護支援専門員の役割の将来像と福祉用具専門相談員との連携について

(22) 将来は介護ロボットの利用拡大に期待したいと思いますか。	1. 思う	2. 思わない
(23) 介護ロボットの利用拡大に向けて、介護支援専門員が貢献できると思いますか。	1. 思う	2. 思わない ⇒問(26)へ
(24) 介護支援専門員が関与する場合、どのような形で関与することが重要だと思いますか。	1. 介護ロボットに関する知識を習得して、利用が望ましいと考えられる利用者に積極的に提案する 2. 福祉用具専門相談員と連携し、新しいロボットに関する情報を収集・提供する 3. 他の職種に対して、介護ロボットの導入についての理解と協力を促す 4. その他()	
(25) 介護ロボットの利用において、福祉用具専門相談員がどのような役割を担うことを期待しますか。(○はいくつでも)	1. 個々のロボットの特性・技術に関する情報を提供すること 2. ロボットを用いた介護サービスの方法、技術、ロボットを利用した事例の情報を提供すること 3. ロボットの導入が適切である利用者に対して、的確な利用提案を行うこと 4. ロボット導入に際して、初期設定を行うこと 5. ロボット導入に際して、利用者や家族・介護者に対して利用指導を行うこと 6. 必要に応じてロボットの修理、トラブル対応を行うこと 7. 特に役割は期待しない 8. その他()	
(26) 介護支援専門員が関与できないと考える場合、その理由はなぜですか。(○はいくつでも)	1. 介護ロボットの技術的な側面については十分理解できないから 2. これ以上業務の負担を増大させたくないから 3. 介護保険制度の対象とは考えられないから 4. その他()	
(27) 介護ロボットと介護支援専門員の将来についてイメージすることがあれば自由にお書きください。		

以上で調査は終了です。お忙しいところご協力ありがとうございました。

(参考資料) 介護ロボットについて

この調査では、介護ロボットを「**介助者の心身の負担軽減や、高齢者・障害者の自立支援に役立てるため、ロボット技術を介護分野に適用した先進的な機器**」と捉えて、代表的な機器・製品をご紹介します。

～国の政策として、重点的に開発・導入が進められています～

- 「日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)」には「**ロボット介護機器開発5か年計画**」が盛り込まれており、ロボット介護機器の開発と導入に戦略的に取り組むこととされています。
- 経済産業省・厚生労働省により、「**ロボット技術の介護利用における重点分野**」を設定し、この重点分野のロボット介護機器の開発・導入の支援を行うことにより、要介護者の自立促進や介護従事者の負担軽減を実現し、ロボット介護機器の新たな市場の創出を目指しています。
- 本格的な現場への導入・普及に向けて、各重点分野の安全基準の作成が進んでいます。ロボット介護機器を含む生活支援ロボットの包括的な国際安全規格ISO13482が今年度発行される見込みであり、今後この規格の改訂や詳細規格の提案に向け、実用性の高い安全基準作りが進められます。

参考「介護ロボットポータルサイト」
<http://robotcare.jp/>

目次

移乗介助（装着型）	……………2	重点分野
移乗介助（非装着型）	……………3	重点分野
移動支援（屋外型）	……………4	重点分野
移動支援（屋内型）	……………5	重点分野
排泄支援	……………6	重点分野
自動排泄処理装置	……………7	※介護保険給付（レンタル）対象
見守り支援（介護施設型）	……………8	重点分野
見守り支援（在宅介護型）	……………9	重点分野
入浴支援	……………10	重点分野
コミュニケーションロボット	……………11	

移乗介助(装着型)

…ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器

腰部負荷軽減用HAL(CYBERDYNE株式会社)

<http://www.cyberdyne.jp/products/supporting.html>

開発中



- 重量物を持ち上げる動作のアシストをします。持ち上げる際に腰にかかる負荷を軽減することで、腰痛になるリスクを減らします。
- サイボーグ型ロボット“ロボットスーツHAL”の技術を利用し、人間の運動意思を反映してアシストします。

介護用マッスルスーツ(株式会社菊池製作所)

<http://www.kikuchiseisakusho.co.jp/mechatro2/RobotTechnology.html>

開発中



- 訪問入浴介助時のベッド・浴槽間での移乗作業のような、介助者の腰に大きな負担のかかる作業を支援します。
- 圧縮空気タンクによるアシスト方法を利用しているため、接続ケーブルなどがなく、自由に移動することが可能です。
- スイッチは装着者の呼吸で反応するため、両手を自由に使うことができます。

★その他の機器例: 可搬バックパック型移乗介助機器(株式会社東芝)

移乗介助(非装着型)

…ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器

移乗ケアアシスト(トヨタ自動車株式会社)

http://www2.toyota.co.jp/jp/news/11/11/nt11_040.html

開発中



- 要介護者の体幹をホールドし、介助者が人手で通常している方式と同様の抱え上げ動作により、移乗介助を実現します。
- 重要な血管や神経が通る脇を圧迫することがなく、下肢支持性がない要介護者をも、抱え上げることができるため、膝などの下肢支持が必要な支援機器よりも幅広い対象に適用できます。
- 要介護者の座位をサポートすることができます。これにより安定してトイレに座っていただけるので、一人で排泄をすることができるようになります。

移乗介助サポートロボット(富士機械製造株式会社)

<http://nfa.fuji.co.jp/>

開発中



- 要介護者の胸部等を保持して抱え上げ動作を行い、移乗を介助します。
- 保持部を多軸アームの先端に設け、人の自然な動作軌跡を再現しながら抱え上げ動作を行います。
- 介助者は機器を操作し、力を使うことなく、自然な動作で、要介護者の移乗の介助を行うことができます。

★その他の機器例: ROBOELPER SASUKE(マッスル株式会社)・離床アシストベッド(パナソニック株式会社)・メカトロニクス技術を活用した移乗アシスト装置(株式会社安川電機)

移動支援(屋外型)

…高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できる歩行支援機器

歩行アシストロボット(株式会社カワムラサイクル)

http://www.kawamura-cycle.co.jp/kawamura_hp/index.html

開発中



- ・ 上り/下り坂、荷物搭載時に、モーターによるアシストや抑速を行うことで軽快に歩行できます。
- ・ 使用者の状態をセンシングし、歩行車を制御することで転倒を防止します。

歩行アシストカート(RTワークス株式会社)

<http://www.rtwoorks.co.jp/>

開発中



- ・ 使用者の体調や個人差による操作特性を学習することで、使用者の状況に応じた歩行支援を行います。
- ・ 使用者の操作力や路面環境を勘案した、アシスト・ブレーキ制御を搭載しています。
- ・ カートが使用者の歩調に合わせて動作することで、下り坂や狭い場所での後退時などにおいて、転倒の危険性を低減します。

★その他の機器例:おたすけ歩行車(アズビル株式会社)・段差および凸凹対応の歩行支援器(株式会社今仙技術研究所)・外出支援アクティブ歩行補助車(日本精工株式会社)・アシスト制御を用いた外出支援歩行車(ナブテスコ株式会社)・アシスト機能付き移動・持ち物運搬支援モビリティ(株式会社シンテックホズミ)

移動支援(屋内型)

…高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートする歩行支援機器



- ・ 一人で利用できる又は一人の介助者の支援の下で使用できます。
- ・ 使用者が自らの足で歩行することを支援することができます。
- ・ 食堂や居間での椅子からの立ち上がりやベッドからの立ち上がりを主に想定し、使用者が椅座位・端座位から立ち上がる動作を支援することができます。
- ・ 従来の歩行補助具等を併用できます。
- ・ 標準的な家庭のトイレの中でも、特別な操作を必要とせず使用でき、トイレの中での一連の動作(便座への立ち座り、ズボンの上げ下げ、清拭、トイレ内での方向転換)の際の転倒を防ぐため、姿勢の安定化が可能である場合もあります。

開発中

介助+α移動器具(株式会社ワイエムピー・ムンダス)

電動立ち上がり補助機能付き歩行器(株式会社ミツバ)

立ち座りサポートウォーカー(RTワークス株式会社)

要支援状態に応じてサポート機能の組み換えが可能なRT歩行器(THK株式会社)

メカトロニクス技術を活用した移動アシスト装置(株式会社安川電機)

移動支援(屋内型)ロボット(株式会社モリトー)

排泄支援

…排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整可能なトイレ

真空排水式排泄アシスト水洗ポータブルトイレ(アロン化成株式会社)

<http://www.aronkasei.co.jp/anju/index.php>

開発中

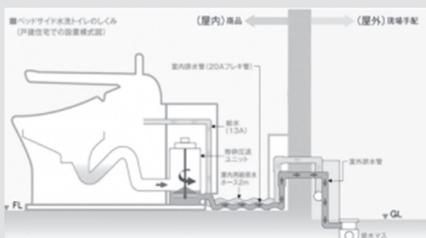


- ベッドとの移乗に配慮し、トイレ座面の高さが昇降します。
- 排泄物をトイレの外に流せます。工事が不要なタイプも品揃えています。(真空ユニットを室内に設置)

居室設置型移動式水洗便器(TOTO株式会社)

<http://www.toto.co.jp/products/ud/bedsidetilet/index.htm>

開発中



- 居室で使用する腰掛便器で、排泄後は便器を水洗するとともに排泄物を粉碎圧送、室外に排出します。
- 水洗便器の給排水管は、室内に露出したフレキシブル管なので、給排水管の届く範囲で、便器の設置位置を変更することが可能です。

★その他の機器例: 排泄支援ロボット「ポータブルトイレ爽」(株式会社エヌウィック)・接続先や機能が変更可能なトイレ(株式会社スマイル介護機器販売)・Wells可変移動式水洗トイレ(積水ホームテクノ株式会社)

自動排泄処理装置

介護保険給付(レンタル)対象

…尿又は便が自動的に吸引される機器

マイレット爽(株式会社大和ハウス工業・株式会社エヌウィック)

<http://www.daiwahouse.co.jp/robot/minelet/index.html>



- 内臓のセンサーが排尿、排便を感知し、排泄と同時に排泄物を吸引し、温水で局部を洗浄、除湿までを自動的に行います。
- 排泄ごとにおむつを交換する必要がなく、介護者の身体的・時間的な負担が軽減されます。

ヒューマニー(ユニ・チャーム ヒューマンケア株式会社)

<http://www.humany.jp/productinfo/>



- 尿吸引パッドに内臓されたセンサーが排尿を検知し、尿を瞬時に自動吸引します。タンクにたまった尿は、簡単にトイレに捨てることができます。
- 排泄ごとのおむつ交換が不要となります。
- ごみ重量は従来の1/10となります。

★その他の機器例: キュラコ(株式会社ウイズ)・スカットクリーン(パラマウンドベッド株式会社)・エパーカー(株式会社パーソンライフ)・オートユリナイト(株式会社エコクリン)・スマイレット安寝(株式会社サンテック)・ダイアレット(ネクストケア株式会社)・リパティZero-1(株式会社リパティソリューション)・ウォーミー(株式会社IWAMA)

見守り支援機器(介護施設型)

…介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えた見守り支援機器

FG視覚センサを用いた認知症患者用非接触ベッド見守りシステム (株式会社アイデアクエスト)

<http://www.ideaquest4u.com/products/products01/>

開発中



- ・ 非接触・無拘束のセンシング装置です。
- ・ 危険状況の察知及び確定から発報まで、30秒以内に通知することが可能です。
- ・ 外部通報は、ナースコールシステムへの危険の通報、あるいは電話による危険と要確認の通報によってのみ行われます。

シルエット見守りセンサ(キング通信工業株式会社)

<https://www.king-tsushin.co.jp/products/silhouette/>



- ・ プライバシーに配慮し、ベッド上の要介護者をシルエット画像で認識します。
- ・ センサが検知すると「起き上がり」、「はみ出し」、「離床」などの事象を併せてPC・タブレットへ異常とシルエット画像が通知されるため、離れた場所からでも状況が把握できます。
- ・ センサが検知した際、検知前後合計15秒の履歴画像を保存できるため、事後に発生した状況をシルエット画像により視覚的に検証が可能です。

★その他の機器例: 認知症の方の見守りエージェント型ネットワークロボット(ピップ株式会社)・3次元電子マット式見守りシステム(NKワークス株式会社)・スマートラパーセンサとカメラを併用した見守りプラットフォーム(東海ゴム工業)・見守り機能型服薬管理支援(クラリオン株式会社)・高齢者見守りシステム市場化(株式会社スーパーリージョナル)・マルチ離床センサー対応型介護施設向け見守りシステム(株式会社ブイ・アール・テクノセンター)

見守り支援機器(在宅介護型)

…在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えた見守り支援機器

いまイルモHI(株式会社ソルクシーズ)

<http://www.imairumo.com/>

開発中



- ・ 各種センサー及び独自アルゴリズムを利用した浴室での見守り機能、転倒検知機能を搭載しています。また、子機の増設により複数部屋の見守りが可能です。
- ・ 要介護者の生活や体調の変化に関する指標を家族及び介護従事者等と共有が可能です。
- ・ スマートフォン、タブレット、PCなどから常時状況の把握が可能です。

カメラ組み込み型画像認識システムを用いた見守りプラットフォーム (株式会社レイトロン)

<http://www.raytron.co.jp/products/index.htm>

開発中



- ・ 転倒、転落後の放置による重度化および転倒後症候群による自立度低下を防ぐことを目的とした高齢者見守りシステムです。
- ・ 危険状態の通知に加え、介護者や家族が危険検出時の画像データを確認できます。

★その他の機器例:

無線センサーネットワークを活用した認知症要介護者見守り支援システム(株式会社ケアコム)・独居高齢者の見守り・転倒検知システム(株式会社ネットワーク21)・在宅高齢者見守りネットワークシステム(株式会社富士データシステム)・振動(加速度)検出方式無線式見守りロボ(株式会社ロジカルプロダクト)・在宅高齢者24時間遠隔地見守りシステム(株式会社バイオシルバー)・3次元電子マットを用いた在宅介護見守りシステム(NKワークス株式会社)・三次元センサーを用いた在宅介護見守りクラウドシステム(株式会社アドバンスド・デジタル・テクノロジー)・転倒検知センサー(旭光電機株式会社)・在宅介護みまもり支援システム(株式会社エイビス)・レーダー技術を用いた安心見守りシステム(転倒検知在宅支援)(株式会社CQ-Sネット)・在宅介護における転倒検知や転倒予防を行う見守りロボット(富士ソフト株式会社)

入浴支援

…ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器



- 要介護者が一人で利用できる又は一人の介助者の支援の下で使用できます。
- 要介護者の浴室から浴槽への出入り動作、浴槽をまたぎ湯船につかるまでの一連の動作を支援できます。
- 機器を使用しても、少なくとも胸部まで湯に浸かることができます。
- 要介護者の家族が入浴する際に邪魔にならないよう、介助者が一人で取り外し又は収納・片付けをすることができます。
- 特別な工事なしに設置できます。

開発中

入浴支援機器(株式会社ハイレックスコーポレーション)

浴槽設置型入浴支援機器(TOTO株式会社)

WELLS可変入浴支援機器(積水ホームテクノ株式会社)

コミュニケーションロボット

…人工知能を用いて利用者と会話する機能を有するロボット。インターネットを利用した機能を有する商品も増えている。

Paro(大和ハウス工業株式会社)

<http://www.daiwahouse.co.jp/robot/paro/>

- セラピー用のアザラシ型ロボットです。
- センサーに反応し、感情表現や生き物らしい動作をします。
- アニマルセラピーと同様の効果があり、自閉症の子供や認知症の高齢者のセラピーに用いられています。

うなずきかぼちゃん(ピップ株式会社)

<http://www.pip-club.com/kabo/>

- 高齢者、要介護者、要支援者向けのコミュニケーションを目的とした小さな男の子の人形のような外観のロボットです。
- 話しかける声や各種のセンサー・スイッチに反応しておしゃべりをします。
- 季節や時間に合わせたおしゃべりや季節の歌を歌うことができます。

Palro(富士ソフト株式会社)

<http://palro.jp/>

- 小型の人型ロボットで、人工知能をもち、自ら話しかけたり、相手の顔や声を認識し、記憶することができます。
- インターネット接続機能があり、天気やニュースなどを通知します。
- 高齢者介護施設等に導入され、コミュニケーションやレクリエーションなどに活用されています。

よりそいifbot(株式会社ifoo)

<http://www.ifoo.co.jp/sub7.html>

- 高齢者向けに、脳の活性化を目的として開発された小型の人型ロボットです。
- なぞなぞやクイズ、記憶ゲームなどをがができます。
- 簡単な会話をすることができます。

★その他の商品例:

NAO(Aldebaran)・Pepper(ソフトバンク株式会社)・KIROBO(東京大学/ロボ・ガレッジ/トヨタ/電通)・PaPeRo(NEC)

4. 「在宅における介護ロボット普及に向けたシンポジウム」開催チラシ



「在宅における介護ロボット普及 に向けたシンポジウム」開催!!

主催：一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

平成 26 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

「在宅における介護ロボット普及の課題と福祉用具専門相談員の役割に関する
調査研究事業」

日時

平成 27 年

2 月 24 日 (火)

午後 1 時～5 時 10 分

会場

東京機械本社ビル(裏面参照)

東京都港区芝 5-26-24 6 階会議室

地図・アクセス詳細は裏面をご覧ください

定員

70 名 ※原則、先着順にてお受付致します。

参加費無料

1 社複数名のお申込みをいただいた場合は、人数の調整をお願いする場合がございます。

お申込み多数により、ご参加いただけない場合のみ事務局からご連絡いたします。

参加券等の発行はいたしませんので、お申込み FAX の到達がご心配な場合は、事務局までお問合せください。

～プログラム～

国では高齢者、障害者等が地域で安心して暮らせるよう、「ロボット介護機器開発 5 年計画」を策定し、介護ロボットの開発・普及策を進めています。本会では、この政策の動向を踏まえながら、来るべき在宅での介護ロボット導入を見据え、普及上の課題と福祉用具専門相談員が果たすべき役割を検討するため、調査研究事業に取り組んでいます。本シンポジウムは、この事業の一環として、アンケート結果（速報）や検討結果を中間的にアピールすると共に、テーマをより深めるため、シンポジウム参加者の意見を集約することを目的に開催するものです。

■基調講演（30分）

講演者／東 祐二 氏（厚生労働省老健局振興課 福祉用具・住宅改修指導官 介護支援専門官）

テーマ／「仮題：介護保険制度における福祉用具・介護ロボットの動向について」

■シンポジウム（90分）

テーマ「仮題：在宅における介護ロボット普及の課題と福祉用具専門相談員の役割」

・コーディネーター／伊藤利之氏（横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問）

・シンポジスト／五島清国氏（公益財団法人テクノエイド協会 企画部 部長）

瀬戸恒彦氏（公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事長）

原田重樹氏（一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長）

渡邊慎一氏（一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長）

・助言者／東祐二氏（前掲）

■介護ロボット展示・プレゼンテーション

・アロン化成株式会社 ・大和ハウス工業株式会社

■タイムスケジュール

13：00	受付開始	15：00～15：10	休憩（介護ロボット展示）
13：00～13：30	介護ロボット展示	15：10～16：40	シンポジウム
13：30～13：40	開会、趣旨説明	16：40～16：45	閉会
13：40～14：30	介護ロボットプレゼン	16：45～17：10	介護ロボット展示
14：30～15：00	基調講演		

参加ご希望の方は、裏面申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにて全国福祉用具専門相談員協会宛お送りください。

【お問合せ・お申込み先】 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

108-0073 東京都港区三田 2-14-7 ロール三田 404 TEL 03-5418-7700 FAX 03-5418-2111

ホームページ <http://www.zfssk.com/> 「ふくせん」で検索してください

介護ロボットの普及と有効活用に向けて

「福祉用具専門相談員への期待と将来像」



介護ロボットとは？

先進的な技術を応用した介護機器が開発され、主に高齢者介護施設等への導入が始まっています。ここでは、介護ロボットを「**介助者の心身の負担軽減や、高齢者・障害者の自立支援に役立てるため、ロボット技術を介護分野に適用した先進的な機器**」と捉えて、今後の一般家庭への導入・普及を視野に置いて、福祉用具専門相談員の関わり方について調査検討を行いました。

国の政策として、重点的に開発・導入が進められています

本格的な現場への導入・普及に向けて、各重点分野の安全基準の作成が進んでいます。介護ロボットを含む生活支援ロボットの包括的な国際安全規格ISO13482が発行される見込みであり、今後この規格の改訂や詳細規格の提案に向け、実用性の高い安全基準作りが進められます。

【これまでの歩み】

- H24.11 「ロボット技術の介護利用における重点分野」(経済産業省・厚生労働省)
- H25.6 日本再興戦略「ロボット介護機器開発5カ年計画」(経済産業省)

機器の開発
民間企業・研究機関等



介護現場での実証等
介護施設・住宅等

参考情報

●介護ロボットポータルサイト

<http://robotcare.jp/>

重点分野で開発されている介護ロボットの
一覧および詳細情報を閲覧することができます。

●公益財団法人テクノエイド協会(福祉用具・介護ロボット実用化支援事業)

<http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml>

今後実用化を目指している新しい介護ロボットの状況を
知ることができます。

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会

〒108-0073 東京都港区三田2-14-7 ローレル三田404

Tel: 03-5418-7700 Fax: 03-5418-2111

<http://www.zfssk.com/>



事業報告書は、ふくせんホームページ「調査研究事業」内でも紹介しています。

ふくせん |

検索

http://www.zfssk.com/sp/1302_chosa/

今後の普及・効果的な利用拡大に向けて

「福祉用具専門相談員としての関わり」



「介護ロボットと福祉用具専門相談員への期待」

- 「ロボット機器開発5か年計画」が日本再興戦略に位置づけられ、介護ロボットへの注目と期待が高まっています。将来的には、介護ロボットを一般家庭でも有効に活用することで、高齢者や障害者の自立支援や家族の負担軽減につながる事が望まれています。
- そのために、福祉用具専門相談員が、介護ロボットに関する知識と経験を備え、専門性を発揮することが期待されています。



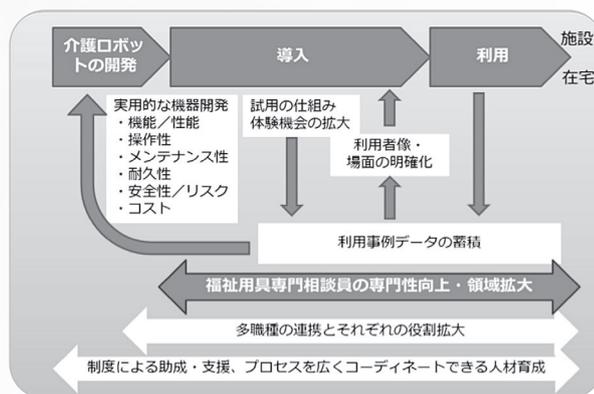
「福祉用具専門相談員の意識」

- 多くの福祉用具専門相談員は介護ロボットへの関心や期待が大きく、熱心に情報収集をしています。また、介護ロボット普及に向けて自ら貢献しようという意欲を持っています。



「福祉用具専門相談員の将来像」

- 福祉用具専門相談員は、地域において、多職種から構成されるケアチームの中で、介護ロボットの専門職としての役割を担うことが期待されています。
- 介護ロボットは福祉用具の延長線上にあると考えられます。在宅生活における自立支援や介護負担の軽減を図るため、機器の特性や適応に関する最新の知識を持ち、機器の導入や適合・調整、利用指導、保守に関する能力を備えることも期待されています。
- 効果的なロボット利用事例の情報を蓄積して、利用者、家族、ケアマネジャー等の関係者に向けて積極的に情報発信していくことも必要です。



このリーフレットは、厚生労働省・平成26年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「在宅における介護ロボット普及の課題と福祉用具専門相談員の役割に関する調査研究事業」の一環で制作しました。

【本事業検討委員名簿】

委員長： 伊藤利之(横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問)

副委員長： 渡邊慎一(一般社団法人日本作業療法士協会制度対策部福祉用具対策委員長)

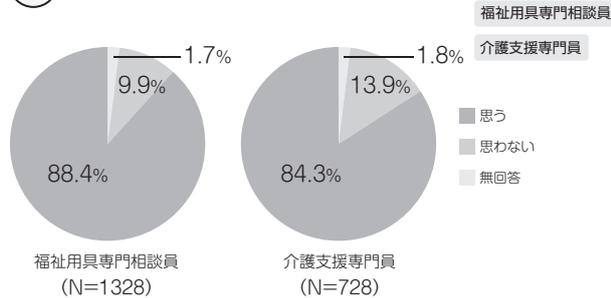
委員： 青田俊枝(青森県介護実習普及センター 所長)、五島清国(公益財団法人テクノエイド協会 企画部 部長)、清水壮一(日本福祉用具・生活支援用具協会 専務理事)、鈴木 忠(一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 神奈川県 副ブロック長)、瀬戸恒彦(公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事長)、原田重樹(一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長)、福井貴弘(岡山市保健福祉局医療政策推進課 課長)、松井一人(公益社団法人日本理学療法士協会 理事)、山下和洋(一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事)

オブザーバー： 東 祐二(厚生労働省老健局振興課 福祉用具・住宅改修指導官/介護支援専門官/介護ロボット開発普及推進官)、和田淳平(同 福祉用具・住宅改修係 係長)、竹見雅裕(同 福祉用具・住宅改修係)、岩元文雄(一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会理事長)

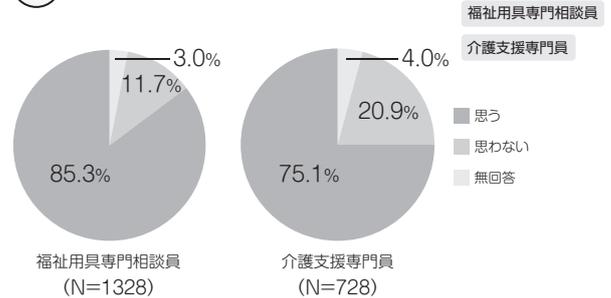
介護ロボットへの期待

アンケート02

Q1 将来の利用拡大に期待したいか?



Q2 利用普及に貢献できると思うか?



調査結果を受けて。

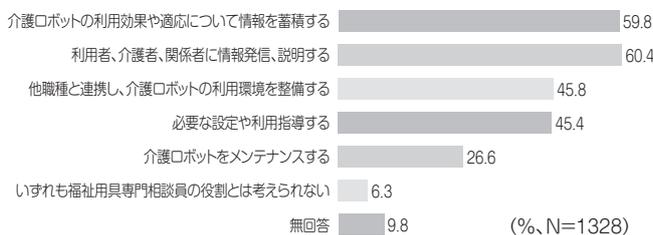
● 福祉用具専門相談員、介護支援専門員ともに介護ロボットの利用拡大に期待しています。

● 自分の職種が貢献できると考える人の割合が高くなっています。

福祉用具専門相談員の役割

アンケート03

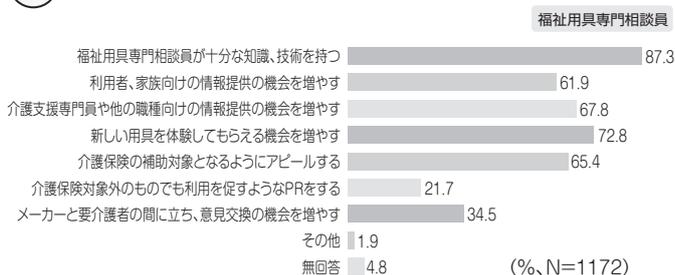
Q1 福祉用具専門相談員が担うことができると思う役割は?



Q2 福祉用具専門相談員に期待する役割は?



Q3 利用を普及させるために重要と思う活動は?



■ 本事業の一環として開催したシンポジウムでは、介護ロボットの展示・体験を行いました。

調査結果を受けて。

● 福祉用具専門相談員は、在宅で介護ロボットを利用する上で、関係者への情報発信を担うべきと考えています。

● 介護支援専門員は、福祉用具専門相談員に対して、介護ロボットの利用事例に関する情報提供や、的確な利用提案を期待しています。

● 福祉用具専門相談員は、介護ロボットの利用・普及のためには、知識・技術習得のほか、体験の機会、介護支援専門員等関係者向けの情報提供等のアピールが必要と考えています。

「在宅における介護ロボット普及の課題と福祉用具専門相談員の役割に関する調査研究事業」



◎アンケート調査結果の概要

「ロボット介護機器開発5カ年計画」に基づく介護ロボットの開発・導入促進策が進められています。本調査研究事業では、この政策の方向性を踏まえながら、福祉用具専門相談員と介護支援専門員を対象にアンケート調査を行い、それぞれの視点から、在宅での介護ロボット普及における課題を明らかにするとともに、普及における福祉用具専門相談員に求められる役割を検討しました。

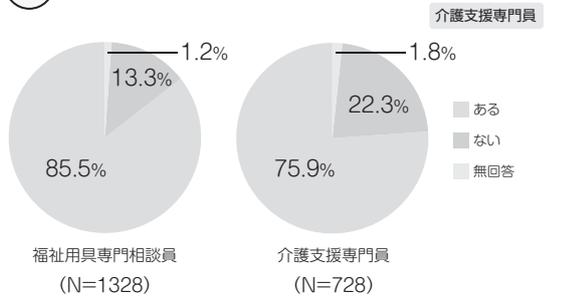
調査対象：全国の福祉用具貸与事業所および 居宅介護支援事業所(無作為抽出)	福祉用具貸与事業所	発送数 2483*	有効回答数 管理者：693 一般：622	有効回収率 管理者27.9%
調査時期：平成26年10月	住宅介護支援事業所	2000	728	36.4%
調査方法：自記式調査票の郵送配布・回収				

*無作為抽出2,000件および日本福祉用具供給協会会員事業所483件

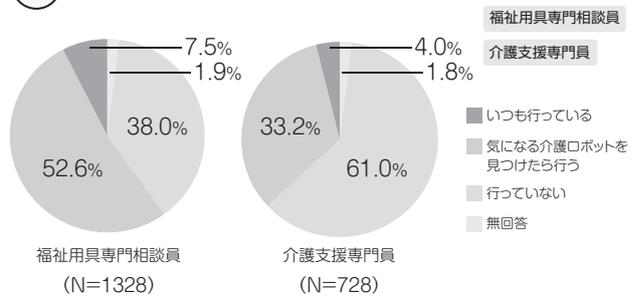
介護ロボットへの関心と情報収集

アンケート 01

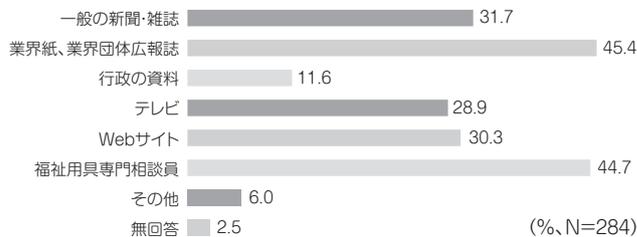
Q1 介護ロボットへの関心は？



Q2 介護ロボットに関する情報収集活動は？



Q3 情報収集方法は？



調査結果を受けて。

- 福祉用具専門相談員、介護支援専門員ともに介護ロボットに対する関心が高く、体験や試用への意欲も強いことがわかりました。
- 福祉用具専門相談員は半数以上が情報収集を行っています。
- 介護支援専門員の4割以上は、福祉用具専門相談員を情報源としています。